
イベント構造 [6W2H] の工学的検証

Engineering verification of Event Structure [6W2H]

JEPC イベント総合研究所 上級研究員

大山 利 栄

東京富士大学キャリア開発センター課長・兼任講師

Jepc Event general laboratory Chief Researcher Toshie Ouyama

Tokyo Fuji University career Development Center Section chief

I. はじめに

一般社団法人日本に弁とプロデュース協会（以下 JEPC と記述する）のさまざまな活動の中で、一つの知的創造活動(研究)から生み出されたイベント企画・計画の基本要素「6W2H」は、JEPCの素晴らしい知的創造資源のひとつである。

この「6W2H」の意義と価値がイベント事業構成には絶対不可欠な構造的な要素になっている。この構造要素（6W2H）が立体的に組み立てられていると、そのイベントは大きな社会的意義を持つことになる。

II. 研究の背景

現在展開されているイベントは「6W2H」の基本要素を持って実施されている。イベントの規模は大きなものから小さなものまで全てに適用している。また、戦略的にも公的イベントから企業でも、私的なイベントまであらゆるイベントに適用されている。小坂善治郎（1991・2013）はその視点について述べている。

「誰もが『コロンブスの卵』の話を存じておられるでしょう。『6W2H』はJEPCが創造した『イベント科学のコロンブスの卵』のことである。イベント企画・計画の基本構成要素のことで、まさに『イベント社会工学の素』になった。1986年にJEPCが設立されて、イベントやその周辺で活躍した当時としては精鋭のプロ集団がさまざまな検討と研究、時には大激論ののちにまとまったものである。いとも簡単に生まれたものとお思いでしょうが、決して楽

に生まれたものではない。それは、すでにマスコミ等の通用ワードであった『5W1H』から始まり、そして、城義紀の JEPC イベントカレッジの第1回講義で『7W3H』が発表されました。そこから、さまざまな研究が生まれ、時には大激論があり、その結果『6W2H(8項目)』に決定した。当然その過程で論じられた『5W2H』『6W1H』『6W3H』『7W2H』『7W3H』もJEPCの知的資産として重要なものである。」

この背景のもとで「6W2H」が社会の中に普遍性をもった。

III. 研究の目的

イベントの成果を目指す構造は、6W2Hの多重層の展開が要求される。6W2Hの展開は1枚の企画表から始動する。イベントが企画・計画・実施と進行する中で、さまざまなポイントで6W2Hがつけられる。それが何重にもなったときによりイベントができる。このさまざまなポイントで6W2Hが確実につけられていると、イベントのリスクは生起しない。つまり、イベントリスクマネジメントにつながりながら目的の達成（成果）につながる。「6W2H」は工学的な展開が求められる。

この6W2Hを実際のイベントにどのように活用しているか、その考え方をつくり出すのが目的である。

IV. 研究の方法

本稿の小坂善治郎の「イベント戦略の核心」の中で、イベントの正否は10年～20年後の時間を経過

した時点でよく評価できると述べている。この論文の中で研究対象となっている「環不知火海海上サミット」のイベントの「企画」「計画」から「実施運営」の実際を対象として研究をする。

この事例は実によく6W2Hが組み合わされている。工学的なさまざまな技術と手法によってイベントが統合されて見事に成功を治めてる。さらに今日にいたって、このイベントの意義が高く評価され「不知火海」の美しさと豊かな海産物が見事に社会のなかにもますます増している。

このイベントの6W2Hの組み合わせと統合の

企画・計画の資料を工学的視点で分析して研究する。

V. 研究の結果

「環不知火海海上サミット」の「企画」・「計画」から「実施」までのプロセスの研究

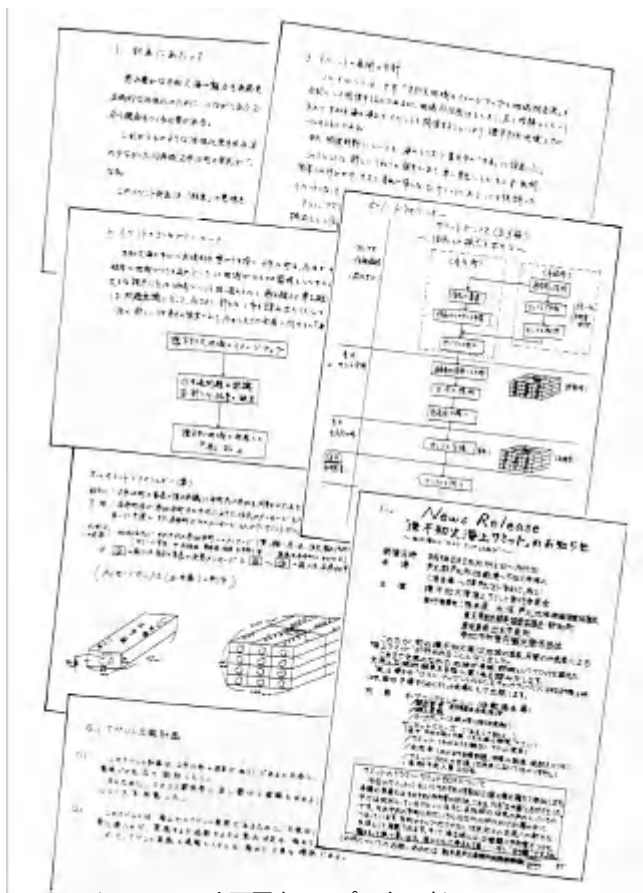
1. イベント企画案の概要

本企画案は、熊本県芦北事務所総務振興課が事務局となり、県令関係2市10町(内鹿児島県1市1町含む)の連携のもとに、何回も検討をしてつくられた。

■イベント企画書【6W2Hの展開】

イベント名称	環不知大海海上サミット	
キャッチフレーズ	風は海から “ロマン・アップ・しらぬい”	
目的	『環不知大海地域のイメージアップと地域間交流』 恵み豊かな不知大海の魅力を再発見し、広域的な活性化の取組みを探るため、県域・郡域を越え、日頃交流することの少ない沿岸域2市10町の官民が一致協力し、海上サミットを実施する。	
主催	環不知大海海上サミット実行委員会	
実行委員会	《構成団体》 熊本県、水俣・芦北地域振興推進協議会、東天草総合開発推進協議会 新和町、鹿児島県出水市、東町、参加市町管内関係団	
参加市町	水俣市・田浦町・芦北町・津奈木町・姫戸町・龍ヶ岳町・御所浦町・倉岳町・栖本町・新和町・鹿児島県出水市・東町（2市10町）	
期日	平成5年8月2日（月）17:30～ 予備日8月3日（火）	
会場	不知大海海上（天草・芦北フェリー「あまくさ」）	
参集者	市町村 首長・企画課長・観光課長	（31名）
	民間 観光関係者・地域づくり団体	（48名）
	県関係 本庁・県事務所	（12名）
	マスコミ テレビ・新聞	（29名）
	スタッフ 官・民	（30名）
	その他	（30名） 計180名
運営	集合（天草方面はクルーザーで佐敷港へ）	17:00
	1 オープニングセレモニー（佐敷港駐車場）	
	(1)開会宣言（副会長）	17:30
	(2)実行委員会会長挨拶	
	(3)郷土芸能	
	(4)テープカット	

	(カットと同時に郷土芸能「芦北太鼓」演奏)	
2	乗船 (佐敷港) クルージング (30) サミット海上へ	18:00
3	サミット (1) 討議 ・地域の現状報告と地域自慢 (2) 意見発表 (問題提起, 不知大海の活用提言) (3) サミット宣言の採択	18:40
4	交流会 (1) 乾杯 (副会長) (2) サミットBOX (玉手箱) プレゼント (3) 閉会 (副会長) ・解散	20:10
5	下船 (佐敷港) (天草方面はクルーザーで天草へ)	21:30



(6W2Hの企画原案のコピーを示す)

2. イベント企画案から計画づくりへステップアップ

①企画案は6月29日, 30日, 7月1日の3日間、熊本県地域イベントセミナーにおいて、研究テーマとして検討され、実施計画のための参考資料としてまとめられた。

②7月12日、第1回スタッフ会議が聞かれた。実施に向けての具体的な項目および展開のポイントが検討され、2市10町に提案された。次のような主な検討項目が了承され、実現に向けて進むこととなった。

<主な検討項目>

- (1) イベント開催コンセプトの確認
- (2) サミットボックスの提案
- (3) ニュースリリースの決定
- (4) 参加者およびスタッフの服装などの具体化
- (5) 2市10町の自慢(出品料理等)の検討
- (6) スタッフおよび部門別の打ち合わせなどである。

◆環不知火海海上サミット第1回スタッフ会議

日時: 平成5年7月12日 (月)

11:00~15:30

場所: 県事務所3階会議室

- 1 開会
- 2 挨拶 (福嶋次長)
- 3 議題

- (1) 海上サミット概要について
- (2) サミットボックスについて
- (3) ニュースリリースについて
- (4) 実施通報システムについて
- (5) スタッフ役割分担について
- (6) 各市町地域自慢
(出品料理等)について
- (7) 部門別打合せ

4 閉会

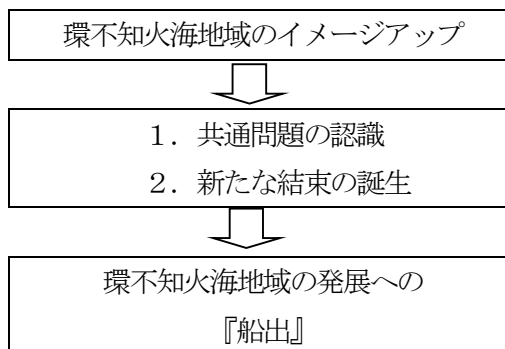
◆スタッフ名簿【Who+How to】

所 属	役職	氏名
熊本県 芦北事務所	課長	〇〇〇〇
水俣市 企画課	参事	〇〇〇〇
観光協会	理事	〇〇〇〇
田浦町 企画開発課	係長	〇〇〇〇
交流会議	事務局長	〇〇〇〇
芦北町 企画課	係長	〇〇〇〇
企画課	参事	〇〇〇〇
↓ 省略		
鹿児島県出水市 企画課	課長	〇〇〇〇
商工観光課	係長	〇〇〇〇
東町 地域活性課	係長	〇〇〇〇
観光協会	理事	〇〇〇〇
↓ 省略		

◆イベントのコンセプト【Why】→【What】

不知大海を中心に広域的なつながりを持つ2市10町は、今までそれぞれが独自に地域づくりを進めて来た。この地域がひとつの開城としてまとめ、更に大きな視点に立って地域づくりを進めるべく、郡域・県域を越えて共通した問題意識に立って、今まさに新たな一歩を踏み出そうとしている。

全く新しい渦巻きの誕生であり、今から大きな発展に向けての「船出」である。



◆イベントの展開方針【Where+when+How to】

このイベントは、まず「環不知火海地域のイメージアップと地域間交流」を目的として開催するものであるが、地域内住民はもとより広く理解してもらうために、不知火海の海上でイベントを開催することにより環不知大海地域をアピールするものである。

また、開催時期についても海のシーズンの8月に設定した。

このイベントは、新しいうねりの誕生であり、単に首長にとどまらず民間団体にも呼びかけ、まさに官民一体となったサミットであることを強調したイベントになっている。

さらに、マスメディアを広く活用して環不知火海地域からの情報発進の絶好の機会として位置づけている。

◆予算案【How much】

[収入の部]

単位:千円

負担金	熊本県	1,400
	市町(150,000円×12市町)	1,800
計		3,200

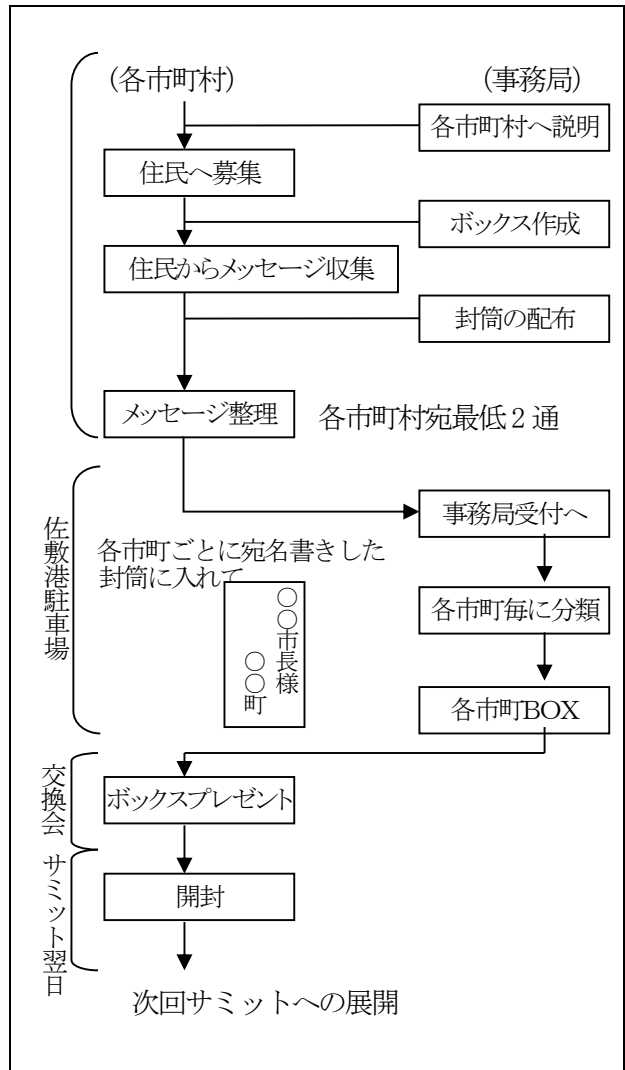
[支出の部]

単位:千円

借上費	フェリー	300,000円	650
	クルーザー	230,000円	
	うたせ舟	120,000円	
食糧費	実行委員会準備分	480,000円	840
	各市町持ち込み分	360,000円	
会場設営費	会場設営(業者委託)		740
	オープニングセレモニー, サミット, 交流会会場設営 音響施設, 照明施設, 横断幕等		
報償費	司会(1名)	50,000円	290
	郷土芸能(3団体)	90,000円	
	ミニコンサート	150,000円	
事務費	資料作成費	250,000円	680
	サミットボックス	154,000円	
	消耗品他	276,000円	
計			3,200

◆サミットドラマツルギー【How To】

／サミットボックス(玉手箱)



◆サミットドラマツルギー【How To】

／住民との接点を求めて

ねらい: 2市10町の首長の頂上会議に市町民の参加を何らかの方法で実施したい。

方法: 各市町長が、参加市町長それぞれに当たった住民のメッセージを入れたサミットボックスを持ち寄り、お互いに交換し、ボックスに入れて持ち帰る。

内容: 地域住民にそれぞれの参加市町へのメッセージ(夢, 願い, 思いで, 注文, 激励等)を原稿用紙に書いてもらう。



(例: 小学生, 中学生, 高校生, 青年団, 主婦, 老人……)

◆ニュースリリース【How to】(6W2H全体の告知)

《News Release》

「環不知火海海上サミット」のお知らせ！

～風は海から “ロマン・アップ・しらぬび～

開催日時 1993.8.2 (Mon) 5 : 30p. m. ～9 : 30p. m.
会場 芦北郡芦北町佐敷港～不知火海海上
(天草・芦北フェリー「あまくさ」)
主催 環不知大海海上サミット実行委員会
実行委員会；熊本県，水俣・芦北地域振興推進協議会
(参加市町) 東天草総合開発推進協議会，新和町
鹿児島県出水市，東町
参加市町管内関係団体

このたび、環不知大海地域 12 市町の首長、民間の代表者による初の“海上サミットが行われることとなりました。

これ、まで交流の少なかった地域が県域・郡域というブロックを越えた交流と広域的結束を目指し、第一歩を踏みだします。

「風は海から “ロマン・アップ・しらぬび” をキャッチフレーズに、8月2日午後6時 10 分、船は夕陽きらめく不知大海へ出航します。

内 容 オープニング・セレモニー (佐敷港会場)
／開会宣言，実行委員会会長挨拶
／郷土芸能
／テープカット
サンセットクルーズ (「あまくさ」船上) ※乗船予定人員 約 200 名
／サミット：わがまちを語ろう，サミット宣言
／交流会：自慢料理，特産の銘酒，焼酎をどうぞ！
／サミットBOX (玉手箱) プレゼント

サミット BOX	サミット終了後、各首長さんに各市・町章の印されたBOXをお持ち帰りいただきます。この中には、各地域のいろんな世代の住民から他の市町へ向けた呼びかけが詰まっています。市町のトップだけでなく住民同士の交流への手法として、各地域からお持ちいただき、それぞれの首長にお持ち帰りいただきます。海から持ち帰るお土産・・・そう“玉手箱”なんです。
-------------	--

問い合わせ先：環不知火海海上サミット実行委員会事務局

熊本県芦北事務所総務振興課 0966 (82) 3111 内線 314, 315

◆サミット実施通報システム【Who+How TO】

実施か延期の決定……8月2日（月）午前8時30分、実行委員会会長が決定する。
 ※実施、延期を必ず通報する。

実行委員会会長（熊本県芦北事務所長）

事務局（0966-82-3111 内314, 315）

参 加 市 町		
1	水俣市	企画課
2	田浦町	企画開発課
3	芦北町	企画課
4	津奈木町	企画課
5	姫戸町	企画課
6	龍ヶ岳町	企画課
7	御所浦町	企画課
8	倉岳町	企画開発課
9	栖本町	企画課
10	新和町	企画開発課
11	出水市	企画課
12	東町	地域活性課
13	天草事務所	総務振興課

関 係 団 体 等		
1	水俣芦北観光協	〇〇 〇〇
2	同上	〇〇 〇〇
3	姫戸じゃろ会	〇〇 〇〇
4	龍ヶ岳町観光協	〇〇 〇〇
5	出水市観光協	〇〇 〇〇
6	東町観光協	〇〇 〇〇

1	天草芦北フェリー(株)佐敷営業所
2	天草観光汽船(株)小暗代表取締役

そ の 他 関 係
 芦北太鼓
 龍ヶ岳獅子舞
 味の瑤峨
 フラワーショップひの

マ ス コ ミ
 県政記者クラブ
 熊日情報文化センター
 毎日新聞
 西日本新聞
 読売新聞
 日本経済新聞
 共同通信
 時事通信
 NHK熊本放送局
 RKK熊本放送
 TKUテレビ熊本
 KKT熊本県民テレビ
 KAB熊本朝日放送
 熊日芦北支局
 水俣記者クラブ
 南日本新聞
 鹿児島新報
 KTS鹿児島テレビ
 MBC南日本放送
 KKB鹿児島放送

3. イベント実施計画の最終確認【WHO+WHEN+WHERE】

7月27日の第2回スタッフ会議により、スタッフの役割分担・配置、タイムスケジュールなどがチェックされた。

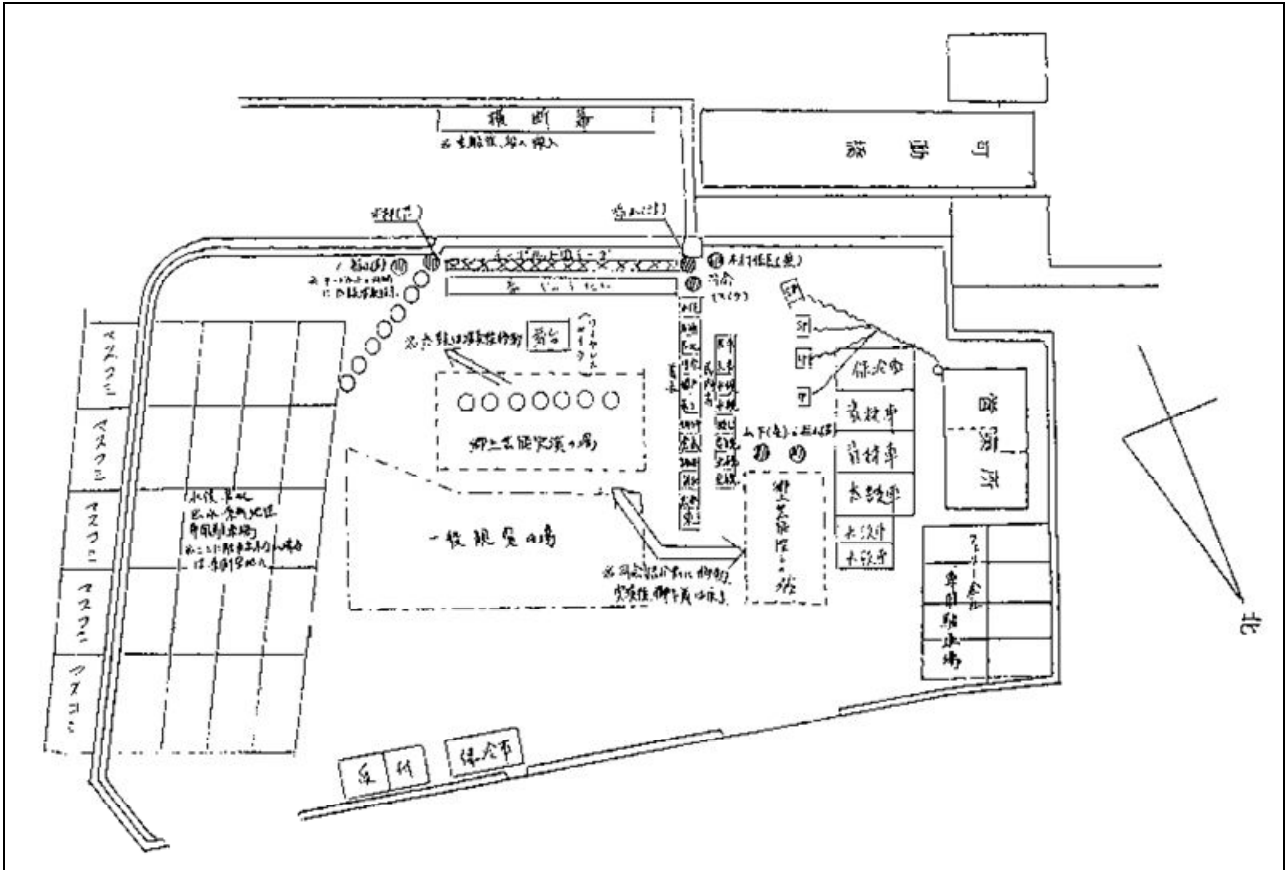
◆スタッフ分担表【Who+Where+What】

	時間 氏名	16:00				17:00				18:00				19:00				20:00				21:00			
		00	15	30	45	00	15	30	45	00	15	30	45	00	15	30	45	00	15	30	45	00	15	30	45
総括	〇〇、〇〇	← 全体総括 →																				〇			
写真	〇〇、〇〇	← 写真 →																							
受付	〇〇、〇〇	← 天草方面誘導 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →															
	〇〇、〇〇	← 天草方面誘導 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →															
	〇〇、〇〇	← 天草方面誘導 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →															
	〇〇、〇〇	← 駐車場誘導 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →															
	〇〇、〇〇	← 受付(救護) →								← 救護 →															
	〇〇、〇〇	← 受付 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →								〇							
	〇〇、〇〇	← 受付 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →															
	〇〇、〇〇	← 料理受取 →				← 交流会会場整備 →				← 交流会運営 →															
オープニング	〇〇、〇〇	← 郷土芸能 →				← サミット会場運営 →				← サミット会場片付 →															
	〇〇、〇〇	← 芦北太鼓 →				← サミット会場運営 →				← サミット会場片付 →								〇							
	〇〇、〇〇	← テープカット →				← サミット会場運営 →				← サミット会場片付 →								〇							
	〇〇、〇〇	← テープカット →				← サミット会場運営 →				← サミット会場片付 →								〇							
		以下サミット、交流会、等各部門に分担表作成 省略																							

◆受付班役割分担表<上記スタッフ分担表の部門別詳細分担>

時間	進行	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
10:00										県事務所初八代へ		
11:00										保冷库受取		
13:30					ミーティング					ミーティング		
14:00									酒班出発	料理班出発		酒班出発
15:00		ミーティング							酒班到着	料理班到着		酒班出発
16:00			駐車場誘導			受付		受付(救護)	受付出欠確認後に〇〇へ	料理受取	駐車場誘導	料理受取
16:30	天草組上陸	天草方面誘導										
17:30	オープニング セレモニー開 会						写真					
18:03	乗船	舞台を船へ		横断幕を船に搬入				乗船後看護士と待機			横断幕をセッ	
18:15										保冷库乗船		保冷库乗船

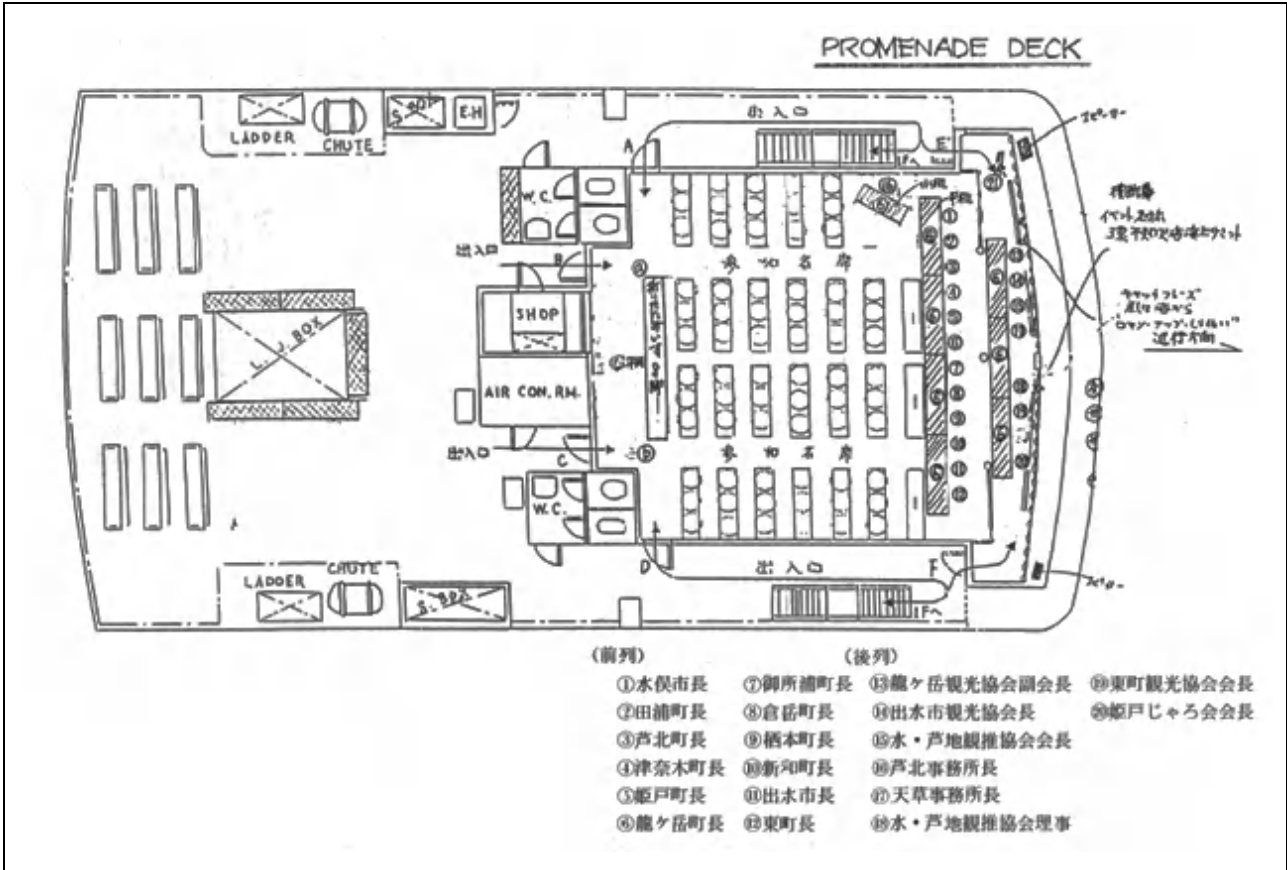
◆オープニング・セレモニー会場【Where+How to】



◆サミット会場準備タイムスケジュール【When+What+Where】

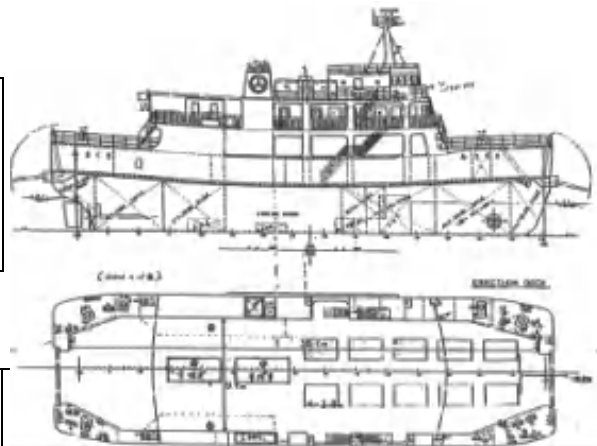
<p>10:30 乗船 (スタッフ、資材車2) →資材車は階段部分で一旦停車 サミット会場用資材搬出 サミット会場準備</p>	<p>※資材車から資材搬入 (机8、クロス、椅子21、マイク6、スピーカー2、横断幕2、八歩スチロール、カーペット、机上表) →デッキへ ※本箱・プランター・消火器・くず入れ除去、売店へ</p>
<p>16:50 資材車下船 17:05 資材車乗船 (一般車両の乗船が終了後、最後に乗船)</p>	<p>※椅子③撤去 (ボルト・座金はビニール袋にまとめてテレビの後ろへ)</p>
	<p>※発泡スチロール撤去 ※カーペット撤去 ※机(クロス付) ⑥および椅子①~⑳セット 机上表設置 ※横断幕設営 (画鋸で) ※マイク準備、スピーカー設置 椅子①⑦⑬⑲に有線マイク 椅子⑥⑱にワイヤレスマイク ※折りたたみ椅子セット (オープニング班)</p>

◆サミット会場平面図【Where】



◆サミットタイムスケジュール【When】

18: 30	会場案内(参加者入場)
18: 40	開会(首長入場, サミットボックス持参)
18: 45	討議(地域の現状報告と地域自慢)
19: 35	意見交換(問題提起, 不知火海の活用提言)
20: 00	サミット宣言の採択
20: 05	交流会会場へ移動



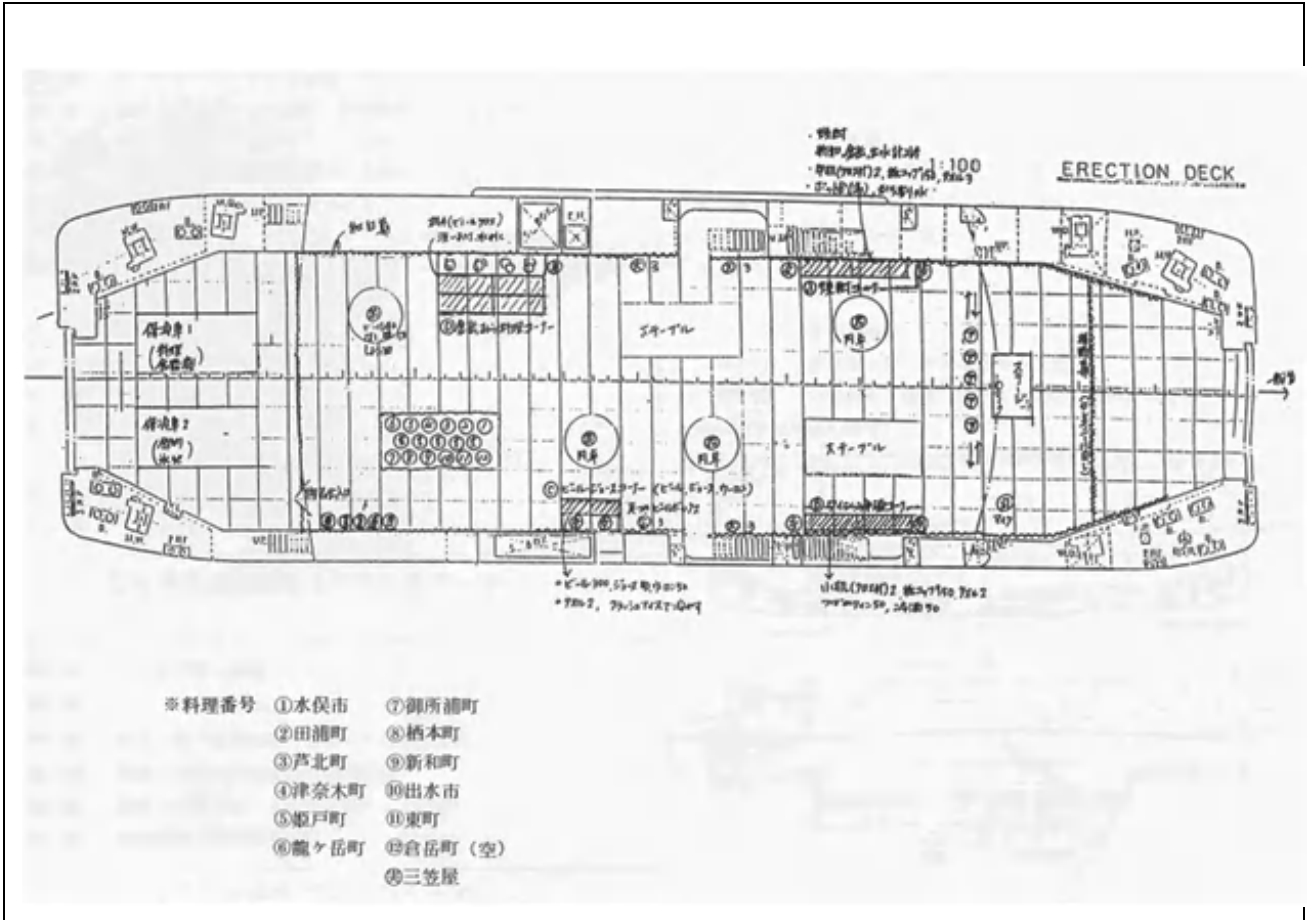
◆交流会会場設営タイムスケジュール

17: 10	(大道発)
17: 10	
17: 55	資材車①②から資材搬出(両サイド③④におろす)
18: 00	資材車下船
18: 04	参加者乗船開始(おでむかえ)
18: 15	保冷車乗船
18: 15	大テーブル(クロス付)・円卓(クロス付)セット, 花も紅白幕セット コーナー(a①b②c③d④e)机セット
18: 45	コーナー(a①b②c③d④e)机セット資材セット
19: 15	はし・皿L・しょう油セット(円卓上)
19: 25	料理セット(ワサビも)。各料理に市町名を付ける
19: 50	完了。スタッフ持ち場で待機


※一般車両満杯の場合
 18: 00 一般車が下船後, 両サイド③④に資材をおろす
 18: 13 資材車下船(参加者乗船完了後)
 18: 15 保冷車乗船

※マイク, スピーカーは業者がセット(ワイヤレス)
 ※ステージセット
 ※横断幕セット(受付班)
 ※⑫コーナーはセットを急ぎ, 終わり次第, たいひひらめ料理開始
 ※女子大生玉手箱贈呈リハーサル
 ※アンサンブル⑦へ案内
 ※アンサンブル演奏開始

◆交流会会場平面図【Where+What】



◆交流会タイムスケジュール【When+What】

<p>20:05 アンサンブル演奏 ~20:09 (演奏終了) 20:10 開会・乾杯(龍ヶ岳町長 於けるステージ) 20:13 アンサンブル紹介, 演奏 ~20:30 (演奏終了) 20:30 倉岳町あら料理実演紹介 20:45 BGMスタート ~21:45 くらいまで</p> <p>21:30 乙姫入場 21:31 乙姫到着, 一例。乙姫のことば 21:32 玉手箱贈呈</p> <p>21:37 乙姫「さよなら」のことば 21:38 閉会の挨拶(天草事務所長) 21:40 終了下船誘導 21:45 参加者下船終了 あと片付け</p>	<p>※参加者 サミット会場から交流会場へ移動 ※アンサンブル そでへ移動</p> <p>※アンサンブル ステージ前へ ※アンサンブル移動 ※司会はあら料理コーナーへ(質問 etc) ※きりのいいところでスタート ○クリストフアークロス</p> <p>21:15 ※乙姫, 女子大生 2階サミット会場へ集合(玉手箱受取待機) 21:23 ※首長ステーション前集合コール⑧へ(司会) 集合確認後 BGM(流)スタート(乙姫, 女子大生入場開始) ※乙姫→②へ, ゆっくりと。一女子大生→⑩へ(水俣市から東町へ順に並ぶ) ※乙姫到着したら BGMをしばらく(乙姫のことばをシャマしない程度に) ※BGM ボリュームあげ ※各首長コール(司会) ※女子大生は自分の担当首長がコールされたら乙姫績へ進み出て玉手箱を 手渡す(1人ずつ) ※乙姫首長へ手渡す。女子大生一礼, 元へ戻る(順次 12市町りかえし) BGMしぼり, カセット入れかえ(セイリング) ※コール(司会) ※挨拶終了(拍手)と同時に BGM スタート(セイリング) ※女子大生二手に分かれて出口横へ並ぶ ※BGM フェイトアウト</p> 
---	---

◆海上サミット確認事項

<p>各市町においては、以下の事項について確認を要す。</p> <p>1 役割のある委員については、その旨説明し、準備をしておいてもらうこと。</p> <p>(1) 開会宣言；副会長 出水市・矢野市長 適当に御挨拶をしていただき、「只今から、環不知大海海上サミットを開会します。」と結んでいただく。次に会長挨拶あり。」</p> <p>(2) サミット宣言読み上げ；副会長 水俣市・田崎観光協会会長 宣言文は事務局で用意する。</p> <p>(3) 交流会の乾杯の音頭，副会長 龍ヶ岳町・辻本町長（おまかせ）</p> <p>(4) 閉会の辞，天草事務所・泉田所長（おまかせ）</p> <p>(5) 現状報告・地域自慢；各首長（一人3分以内）</p> <p>2 当日の服装</p> <p>(1) 各首長は実行委員会で用意したアロハシャツを着用すること。</p> <p>(2) 他の参加者は軽装で参加のこと。</p> <p>(3) スタッフは実行委員会で用意したポロシャツを着用すること。</p> <p>3 スケジュールは確認し、緊急時連絡先（連絡本部；天草芦北フェリー佐敷営業所芦北事務所職員を配置）を周知しておくこと。ただし、船上からは、営業所までの無線連絡しかできない。緊急連絡以外は極力避げること。</p>	<p>スタッフ集合時間 15：00 受付 16：30～17：30</p> <p>4 交流会は20時10分からの予定であるので、参加者には十分周知しておくこと。 （それまでは、飲食できない）</p> <p>5 船着場から会場（フェリー発着場）までは500m歩いてもらうことになるが、閉会后足元が暗いと思われるので、懐中電灯等の用意も必要。 天草方面，東町</p> <p>6 天候不順の場合、翌3日に延期となることを、郷土芸能，海上タクシー，料理関係者，参加者等に周知しておくこと。</p> <p>7 サミット・ボックスのメッセージを忘れないこと。 各市町毎に封筒に入れて、15：00 スタッフ集合時にスタッフが持参、芦北事務所吉永参事に渡す。</p> <p>8 各市町の参加者全員、ネームプレートを持参すること。市町職員については、既存のネームでもよい。民間の分も用意のこと。</p> <p>9 サミット時にメモの必要のある方（首長含む）は、各自筆記用具を持参のこと。</p> <p>10 持ち込み料理については、テーブルの関係上、盛り鉢サイズを直径50cm以内とすること。</p>
--	--

VI. 考 察

イベント構造は6W2Hの8要素の組立によって成立する。ところが、イベント企画・計画は1枚の6W2Hの企画書のみで形成されると考えられていることが往々にしてある。実際はイベントづくりはそんなに簡単なものではない。

1枚の6W2Hの企画案から、この8要素がさ

まざまな組み合わせが求められ、何枚ものフェーズが連なることになる。これが6W2Hの工学的な思考による展開となる。

現在は、コンピュータシステムによって、この6W2Hの8要素の組み合わせの図表や繋がり統合システムが可能になっている。イベントの成否は6W2Hを多様な組み合わせと連携の仕方による。

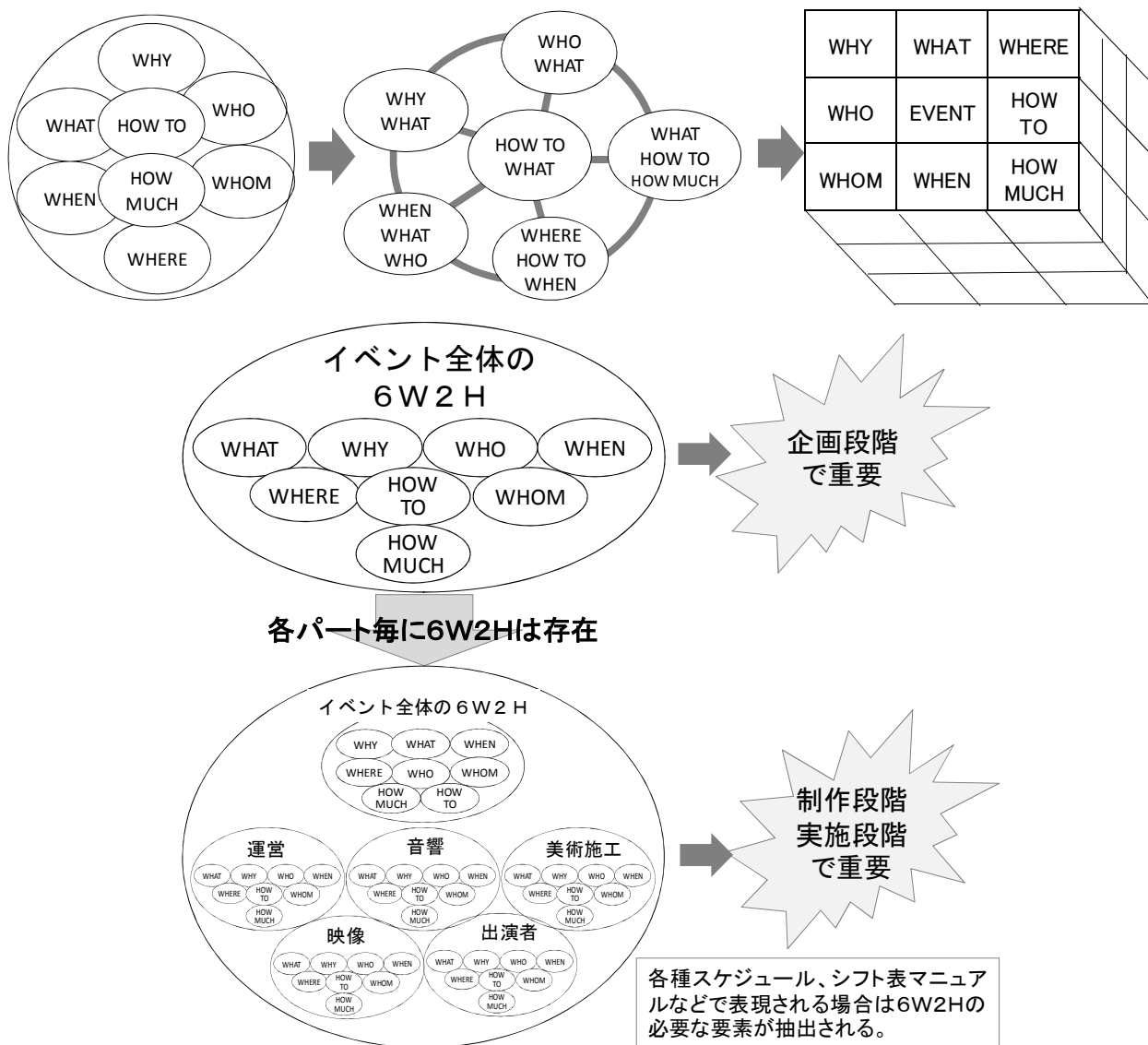


図 6W2Hの組み合わせと連携の参考図

VII. 今後の課題

イベント構造は「6W2H」によって成立している。そして、6W2Hがさまざまな形態で組み合わせながら繰り返し6W2Hの各要素を精査して集約しながらつくりあげる。

この組み合わせと繋がりは多様に多面的に存在する。今後は、さらに、これらの組み合わせと繋がりの方と合理的なあり方を求め続けることが課題となる。その一つの方法として既に実施されたイベントの構造の中から「6W2H」の展開の実際を分析して研究することが大切になる。

【引用・参考文献】

- ・小坂善治郎 (1993) 「イベント戦略データファイル・追録 13号」 (JEPC 編・通産省編集協力) 第一法規出版
- ・北岡元 (2003) 「インテリジェンス入門」 慶應義塾大学出版会
- ・平野繁臣・暁臣 (1987) 「イベント富国論」 T E G 出版
- ・平野繁臣 (1999 年) 「国際博覧会歴史事典」 内山工房
- ・小坂善治郎 (1991) 「イベント戦略の実際」 日経文庫
- ・小坂善治郎 (2011) 「イベント学概論」 (J E P C イベント総研選書) リベルタス・クレオ
- ・Kertzer, D. L., (1988) Ritnal, Politics, and Power. yale U. P.